



経験が成長させる

校長 藤森 克彦

暑さ寒さも彼岸までの言葉通り、残暑もおさまり朝晩は涼しくなりました。季節の変わり目で体調も崩しやすい時期です。子どもたちには生活リズムを整えるなど健康に留意してほしいと思います。

さて、学校では毎月ごとに避難訓練を行っていますが、9月に行った訓練は中休みの時間に地震が発生したとの想定で、指示に従って全員校庭に避難し人数確認をするという内容でした。まず15日に行ったときは夏休み明けということもあり、少しざわざわしていたところがあったため、後日やり直しでもう一度行うことに。やり直しの2回目は緊張感をもってビシッと決めることができました。

今回の避難訓練で、以前と比べ子どもたちの様子が変わってきたなど実感したことが二つあります。ひとつは1回目の訓練のとき、訓練にかかった時間の分だけ休み時間を延長する予定を急きよ「なし」にしたことで、わざと反抗的な行動をとってみせたり不平不満の声をあげたりすることがなかったことです。「なし」にされた側の気持ちとしては不満だったと思いますが、不合格になった後ろめたさもあるのか、子どもながらに大人の対応ができました。

もうひとつは、2回目のやり直しのときのことです。訓練が終わった後、前回の「なし」の分を含め休み時間を15分程度延長しました。ただ、休み時間の終わりのチャイムは通常の時間に設定されているため鳴りません。終わりの時間がきたら手でチャイムを鳴らすかどうか教員らで考えているうちに、校庭で遊んでいた子どもたちが次々と教室に戻っていきました。結果的に教員から戻る指示がなくても、時計を見て戻ることができたのです。夢中に遊んでいる子どもたちが時計だけ見てノーチャイムで次の行動がとれるはずがないと勝手に思い込んでいたこと、教師として反省すべきところです。決められたことをきちんと行動すること、一方、自分たちで状況を見て柔軟に行動できること、その両面を同時に見ることができました。

話は変わりますが、この夏休みに子どもたちが書いた読書感想文をいくつか読みました。その中に、おじいちゃんの死を題材に機知に富んだ作品が目につきました。その本はヨシタケシンスケ作『このあと どうしちゃおう』で、早速本屋さんで買って読んでみました。

ネタバレしない程度に紹介しますと、主人公はおじいちゃんを亡くしたばかりの男の子。ある日、いなくなったおじいちゃんの部屋を家族で掃除していたとき一冊のノートを見つけます。表紙は「このあと どうしちゃおう」。自分が死んでしまったらどうなりたいのか、どうしてほしいのか。生まれ変わったらなりたいものの一覧。天国ってこんなところに違いないとテーマパークのような予想図。建ててほしいお墓のデザイン。それらがイラストと文字でいきいきと描かれていて、男の子はとてワクワクしてくるのです。おじいちゃんは死ぬのが楽しみだったのだろうか。でも、ふと男の子は考えます。

「ちょっと待てよ。もしかしたらおじいちゃんは楽しみなんかじゃなく、その逆だったのかもしれない」と。楽しそうだったのか怖かったのか、どっちだったんだろう。生きているうちにやりたいことって何だろう。核家族で身近な死に直面する機会が少ない時代です。死を考える意味、そして死を考えることは生を考えることに他ならないことをユーモラスに語っていて、印象に残る本だと思いました。

夏休みの時期になると、ネットなどで読書感想文は必要かといった記事を目にすることがありますが、私のように読書感想文を読んで改めてこんな本があるのかといった刺激を受けたり、同じ本を自分も読んでみて世界観がさらに広がったりすることもあります。多くの本に接し感想を文に表すこと、それは感性豊かな子どもの時期だからこそ意味のある貴重な経験だと思います。

2学期は体育祭や学習発表会をはじめ、様々な経験を得る時期でもあります。子どもたちが成長してきたと思うたくさん場面に出会えることを期待したいです。

6年 「小学校生活最後の体育祭」

6年担任 小池 絢子

6年生は学校のリーダーとして、大一体育祭に向けて準備をすすめています。6年生になると、全員が係活動を担当し、大一体育祭の運営を支える重要な役割を任せられます。具体的には、スローガンの垂れ幕やプログラムを作成したり、大一体育祭を盛り上げるための放送を考えたり、競技がスムーズに行えるように用具の準備をしたりしています。責任が伴う活動を通して、自分たちの手で体育祭を創り上げていく楽しさを感じてほしいです。 <結団式の様子>



体育祭の醍醐味の一つである応援団では、タブレットを使って情報収集、情報共有をしながら各組ごとにどんな応援にするか、団長を中心に話し合って練習しています。5年生のメンバーとも一緒に活動していく中で、意見をじっくり聞く姿や積極的にリードする姿も見られ、とても頼もしく思います。

6年生にとっては小学校生活最後の体育祭。その日に向けてたくさん努力を積み重ねてきました。子どもたちが本気で楽しむ姿に保護者の皆様も注目してください。

5年 「高学年として臨む体育祭」

5年担任 八木 健登

高学年として初めて迎える大一体育祭。委員会・応援団・リレー・係、と今までとは違う運営する側で体育祭に関わります。「高学年って忙しい」と言いながら、各担当の仕事を誠実にこなしている姿がとても頼もしいです。

学年団体競技では、長縄8の字跳びをします。休み時間に練習に取り組んだり、作戦会議をしたりして記録更新を目指し、試行錯誤しながら日々過ごしています。クラスだけでなく学年一丸となって臨む長縄8の字跳び。彼らの真剣な姿や表情に期待してください。

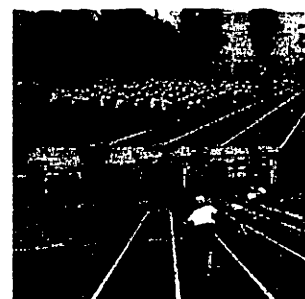


<応援練習をしています>

4年 「一人一人の力を発揮し仲間とともに」

4年担任 廣瀬 裕貴

体育祭に向けて、「短距離走」や「台風の目」の練習が始まりました。「徒競走」では、最後まで全力で駆け抜けられるようにスタートやカーブでの走り方を一人一人が工夫しながら練習しています。同じレースの相手には負けたくない気持ちがひしひしと伝わってきます。「台風の目」は、最初は四人で動いたり走ったりすることが上手にできませんでした。しかし、練習の中で子どもたち同士が声をかけ合い、どうすれば四人でスムーズに行動できるか考え、実践して日々上達しています。ぜひ、本番の四人の息の合った動きに注目してください。



↑学年練習の様子↓

3年「3年生頑張っています！」

3年担任 森本 睦美

3年生は、団体種目「ダッシュ！奪取！！綱取り！！！」と短距離走に出場します。団体種目は、クラスで作戦を練っていかにか多くの綱を引き寄せられるか頭脳戦です。短距離走では初めてのカーブを走ります。どの種目も全力で取り組みたいと、今からやる気満々です！！

本番だけではなく、練習でも気を抜かずに取り組みたいです。あと、自分のことだけではなくて、他の人のことも考えて行動したり応援したりしたいです。そして、1位を取りたいです。

3年松組 O・M

短距離走は個人の種目ですが、みんなで応援をし合って助け合っていきたいです。学年競技では、縄をしっかり持って腰を低くすることを頑張ります。みんなで、めざせ1位。

3年竹組 D・Y

ぼくは、チームワークで応援をしたいです。なぜなら、応援されている方は嬉しくなって元気がもりもり出てくると思うからです。

3年梅組 O・T

一番の目標は1位をとることだけど、ちゃんと正々堂々と競い合い、けんかもなく悔しいこともなく、頑張りたいと思います。

3年月組 K・K

このような児童の思いがあふれる大一体育祭の3年生をぜひご覧ください！

2年「みんなで成長しています」

2年担任 馬場 久寿

2回目の体育祭となる今回は、「大玉ころがし」の練習を中心に行っています。各クラスで大玉の押し方、素早くバトンタッチするには何に気を付ければいいのか、ファールにならないような走り方ができているかなど様々な工夫を子どもたち同士で話し合いながら考えています。動画を撮って確認したり、

上手なペアをみんなで見て研究したりして、練習するたびに上達する姿が見られています。また、短距離走でも何度も練習を重ねるうちに、スタートや走り方だけではなく、並び方

や待ち方もどんどん立派になってきました。体育祭当日ではこの1年間の成長をお見せできるように指導してまいりますので、ご期待ください。



<大玉ころがし練習中>

1年「ハハハ♪玉入れ練習中！」

1年担任 金谷 美寿々

初めての体育祭の練習が始まって、とってもわくわくしている1年生。1年生名物の「ダンシング玉入れ」に向けて練習を開始しました。

各クラスでダンスの練習をしたときには、元気いっぱい体を思い切り動かしてノリノリでした。

何よりも弾ける笑顔で踊っている姿がかわいらしいです。踊った後は、真剣勝負の玉入れが始まります。

チームが勝つためにはどのようにしたらよいのか、ルールをしっかり守って正々堂々と勝負に挑む姿を見ていただけるように指導をしていきます。



<ダンシング玉入れに夢中！>

市民科「委員会・クラブ」

市民科部 大芦 眞之介

今年度の委員会は『代表』『集会』『放送』『音楽』『飼育』『図書』『体育』『保健』『給食』『環境』『広報』『掲示』の12の委員会で構成されています。1, 2学期は6年生、3学期は5年生の委員長を中心として活動します。よりよい学校を作っていくためにそれぞれの委員会で行っていきたいことややるべき仕事について話し合い、自分たちで決めた仕事に責任をもって取り組んでいく力を育てます。タブレットが導入されて2年が経ち、委員会やクラブでも積極的に活用しています。動画を配信して全校に呼びかけをしたり、児童集会をしたりと新しい取り組みをたくさん見ることが出来ます。

またクラブ活動では、今年度新たに「イラスト・デザイン」クラブを設立し、タブレットのアプリを使いデジタルアートを学んでいます。前年度からあるクラブでは、ずっと受け継がれてきた活動を継続し、さらによりよいものをつくろうとする子どもたちの前向きな気持ちを感じています。

委員会やクラブでの主体的な活動が、大井第一小学校をさらに輝かせています。



年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて	チャイムスタートをしましょう
保健のめあて	うがいと手洗いをしましょう
給食のめあて	後片付けをきちんとしましょう



10月の行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	生	都民の日	17	月	
2	日		18	火	放送朝会 不審者対応訓練
3	月	体育祭係打ち合わせ	19	水	フレンドタイム④
4	火	放送朝会	20	木	生活科見学(2年) 歯磨き指導(1・3・5年)
5	水	体育祭全校練習	21	金	児童集会 クラブ
6	木	全校練習予備日 新1年生学校公開・学校説明会	22	土	
7	金	体育祭前日準備(6年)	23	日	
8	土	土曜授業 大一体育祭	24	月	出前模擬選挙(6年)
9	日		25	火	放送朝会 社会科見学(3年)
10	月	スポーツの日	26	水	
11	火	放送朝会 大一体育祭予備日 委員会	27	木	
12	水	家庭科昆布教室(5年)	28	金	音楽朝会 午前授業 就学時健診
13	木	生活科見学(1年) 家庭科昆布教室(5年)	29	土	
14	金		30	日	
15	土	鹿島神社大祭	31	月	読書旬間始 学習発表会時間割始
16	日				

◆歩道橋工事について◆

- ①期間延長について、歩道橋通行止め期間が10月31日(月)までとなります。
- ②通学路について、引き続き青コース・黄色コースの児童は迂回路(トップ前横断歩道)を通ります。
- ③引き続き、交通指導員が配置されます。安全な歩行の仕方等を指導します。

生活指導部より

身の回りの安全に気を付けましょう

生活指導部 藤田 貴城

夏が終わり、秋らしい天候になってきました。朝晩の肌寒さと太陽が沈む時間の早さを感じます。先日は「交通安全10日間チャレンジ」へのご協力ありがとうございました。「カードがなくても交通安全を心がけよう」という振り返りが多く、意識の高まりを感じました。また、学校で行ったヘルメット調査では自転車に乗るときにはほとんどの児童がヘルメットを着用していることがわかりました。今後横断歩道のわたり方や自転車の乗り方など交通ルールやマナーについて気を付けながら生活してほしいと思います。

また、「誰と」「どこで」「何時まで」遊ぶのかを保護者と共有することや、まもるっちを携帯することについてもう一度ご確認をお願いします。怪我や事故など無く、学校生活を送ってほしいと思います。

「ルーコラム」かかわる、創る

養護教諭 近藤 千絵

『保健室』この言葉を聞くとどんなことをイメージしますか?怪我をしたり、体調が悪くなった時に行くところ。大半の人がそうイメージし、保健室から連絡が来ると「何かあったのかな」と不安に感じることもあると思います。確かにそうした一面はあるかもしれませんが、こんなイメージも是非もってほしいです。保健室は教室と違い、いつでも誰でも利用できる場所です。友達同士でリラックスしに来ていたり、理由はないけどなんとなく来ていたり、保健委員会の児童がお手伝いをしていたり、色々顔がある中でそこでのかかわりも生まれています。そのかかわりから「大井第一小学校の保健室」は創られているのです。保健室は自分とも人とも向き合える温かい場所。そういう一面を担任や保護者、児童へ伝えていきたいです。